

平成24年9月吉日

日本CSR普及協会近畿支部
支部長 山田庸男

日本CSR普及協会近畿支部セミナー
企業が知っておくべき消費者行政、消費者団体の現状
～消費者重視の社会と企業の対応～

「消費者目線」という言葉をよく聞くようになりました。企業のCSR、コンプライアンスの面からも、食品、日用品などの安全性や、表示の公正の問題など、消費者保護の視点を忘れることはできません。

そのような社会の意識を反映して、消費者庁が3年前に新設されましたが、近々、国民生活センターとの統合が予定され、更に機能が強化される見込みです。消費者団体による企業に対する契約条項や勧誘活動の差し止め請求制度も5年前に新設され、いくつもの判決例が出てきています。消費者団体による「集団的被害救済制度」という新たな制度も立法化されようとしています。

このように、企業にとっても「消費者目線」がいよいよ重要になってきました。今回のセミナーは、最新の消費行政や消費者団体活動の動きなどを、消費者庁、消費者団体から講師をお招きし、わかりやすくお伝えします。今後の企業活動に極めて有益ですので、多数のご参加をお待ちしております。

ご参加の方は、**10月24日までにHPからお申し込み下さい。**

なおセミナー終了後、参加者の交流会（会費1000円。講師の参加も予定）も予定しております。多数のご参加をお願い申し上げます。

日時	平成24年11月1日（木）午後3時～6時
場所	大阪弁護士会館2階ホール（大阪市北区西天満1-12-5） 地下鉄「淀屋橋」、「北浜」から徒歩5分、「南森町」から徒歩8分。 JR東西線「大阪天満宮」から徒歩8分。 http://www.osakaben.or.jp/
講師	山崎俊巳 氏（消費者庁 前総務課長（予定）） 榎 彰徳 氏（適格消費者団体 NPO 法人「消費者支援機構関西」理事長） 黒木理恵 氏（弁護士 前消費者庁任期付職員）
テーマ	企業が知っておくべき消費者行政、消費者団体の現状
参加費	無料
対象（予定）	大阪商工会議所会員企業 大阪弁護士会所属弁護士
共催（予定）	大阪商工会議所、大阪弁護士会